

みんなで元気になりましょう！

鳥羽市長 木田 久主一



皆様、明けましておめでとうございませう。

「今年こそ平和で景氣のよい年になってほしい」という想いで新しい年を迎えられたことと存じます。

昨年は、鳥羽市にとって明るいニュースが多い一年であったと思います。

伊勢神宮の第62回式年遷宮のおかげで、多くの観光客の皆さんが伊勢市を訪れ、鳥羽市における宿泊客数も大きく伸びる一年となりました。また、6月には吉永小百合さんが神島に帰ってきてくださり、7月には水森かおりさんによるショーが鳥羽みなどまつりで開かれました。更に10月には五木ひろしさんが約束どおり、母校である加茂小学校ですばらしい歌声を聞かせてくれました。そして全国的にはアベノミクス効果もあらわれてきており、国民の期待が高まった一年でありました。

一方で、鳥羽市を取り巻く情勢が厳しさを増してきております。

それは何と言っても少子高齢化の影響です。交付税や市税といった収入は、入湯税を除いて減少してゆきます。逆に支出は、福祉関係費を中心に増加してゆくでしょう。この状態が続けば、市民のための政治や、鳥羽市としての特色ある政策の実行がますます困難となってきます。

そのような厳しい情勢の中ではありませんが、本年はいよいよ佐田浜地区における農水産物の直売所の建設を実行します。市民の皆様楽しんで訪れていただける空間にするとともに、遷宮後の対策として、そして何より第一次産業や観光業の発展につなげてゆきたいと考えております。

また、市民が「歩く」ことによって楽しみながら健康を維持してゆくことができるように、ウォーキングを推奨するまちづくりを進めてまいりたいと思います。

市民の皆様が元気になれる一年となりますよう共にがんばってまいります。

更なる議会改革の推進を

鳥羽市議会議長 野村 保夫



新年明けましておめでとございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。日頃は、鳥羽市議会の活動に対し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年頭に当たり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

ご承知のように市議会は二元代表制の下で、市長、その他の執行機関との立場や権能の違いを踏まえ、常に緊張を保ちながら、市民の皆様の福祉の向上および市政の発展に寄与していかなければなりません。

本市議会といたしましては、本会議や議会運営委員会および各常任委員会などの会議についてもインターネット中継を実施するなど、開かれた議会を目指すとともに、市民の皆様の多様なご意見を把握するため、議員自らが各町内へ出向き議会報告会並びに意見交換会を実施するなど、全国でも注目される取り組みを行ってきました。しかし、新しい地方主体の時代を迎え地方自治の範囲が拡大した今日、地方自治体の自己決定、自己責任の範囲が拡大し、市議会の果たすべき役割はますます重要となっております。

市議会は、市政を取り巻く環境の変化を的確に捉えながら、様々な市政の課題解決に向け、市民の皆様の期待に応えるべく、昨年の9月定例会において議会改革推進特別委員会を設置し、更なる議会改革の推進に取り組んでおります。

市民の皆様におかれましては、より一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年